

名称	ロープワーク	雨天 ○
活動の概要	ロープなどの結び方を学びます。	季節 通年
		対象 高学年～
		人数 50名
持ち物・費用	筆記用具	時間 1～3時間
		職員の対応 事前指導・指導

【特長】

・用途、目的にあったロープワークを選ぶことができます。

【活動場所】

・室内または広場

【貸出物品】

・教材ロープ:50名分

【計画時の留意点】

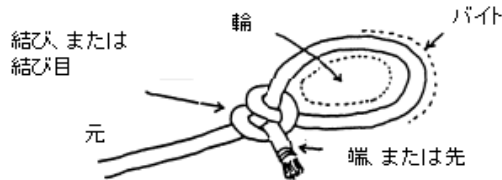
・能力(理解力など)に個人差がありますので、少人数での活動が適しています。
 ・大人数の場合は、活動時間を長くするか、実習項目を絞れば可能です。
 ・人数に関係なく巡回指導が必要です。団体指導者の協力が必要です。

【活動の概要】

①ロープワークの基本

- A: 結びの条件 結びやすい、丈夫である、ほどこしやすい。
- B: 安全なロープ選び 用途、目的にあった強度を持つロープを選びます。
 必要な長さのロープを用意します。
- C: ロープの扱い方 踏まない。地面に直接置かない。急激な力をかけない。
 濡らさない。両端は必ずビニールテープなどで端止めをします。

②ロープの名称

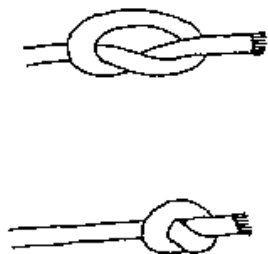


バイト: ロープの曲がった状態のところ
 輪: ロープの輪の状態になったところ

③ロープの結び方

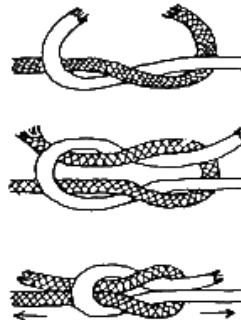
○止め結び

基本になる結び方です。
 一時的にほどこけるのを防ぎます。



○本結び

2本のロープで結ぶ一番単純な結び方です。



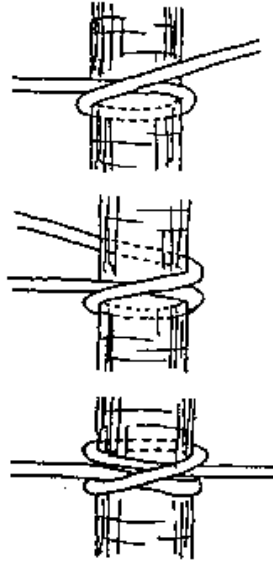
○ねじ結び

引っ張っても緩まず、しっかり固定できる結び方です。



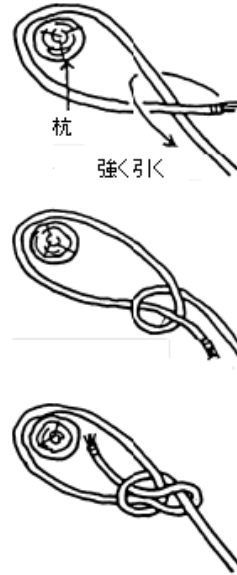
○巻き結び

木や柱につなぐ結び方の中で一番簡単な結び方です。



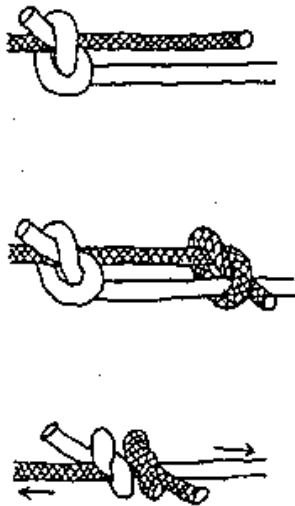
○もやい結び

船をつなぐ時に使う結び方です。応用範囲が広い結び方です。



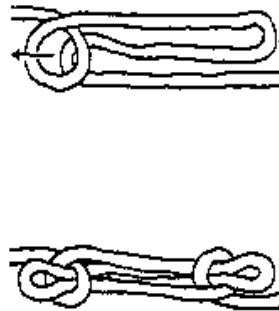
○てぐす結び

太さや材質の違うロープを結ぶ時に使います。



○ちぢめ結び

のばしたり、ちぢめたりして、固定します。



○棒結び

ひもを収納する時に使います。

